

岩泉発

防潮林再生で植樹

岩泉町小本地区で、震災の津波で流失した2.4ヘクタールの防潮林の再生を目指して住民100人がクロマツの苗500本を植えました。参加者は1.4メートル間隔に穴をあけ30センチ余りに成長した苗を丁寧に植えていきますが、震災前同様の防潮林になるには50年かかるということです。(5/14 ニュース)



釜石発

新しい魚市場が完成

津波で被災し復旧工事が進められていた釜石市の魚市場が完成しました。新しい魚市場は市が水産庁の補助事業などを活用して約37億円をかけて元の場所に整備しました。鳥や動物の侵入を防ぐシャッターを備え殺菌海水も導入するなど衛生管理を徹底したほか、水揚げから出荷までを直線的に並べて作業を効率化し、さらなる鮮度アップも図ります。(5/16 ニュースエコー)



津波で被災し復旧工事が進められていた釜石市の魚市場が完成しました。新しい魚市場は市が水産庁の補助事業などを活用して約37億円をかけて元の場所に整備しました。鳥や動物の侵入を防ぐシャッターを備え殺菌海水も導入するなど衛生管理を徹底したほか、水揚げから出荷までを直線的に並べて作業を効率化し、さらなる鮮度アップも図ります。(5/16 ニュースエコー)

宮古発

復旧した水田で田植え

津波で浸水し、復旧工事が終わった宮古市赤前の2ヘクタールの水田で7年ぶりとなる田植えが行われました。この水田で稲作を行うのは地元の農家による営農法人「宮古東部ファーム」で組合員は17人です。県によりますと津波で宮古・下閉伊地区では138ヘクタールもの農地が被災しています。(5/19 ニュースエコー)



宮古発

復興たろう大漁まつり

宮古市の田老地区で地元の神社の例大祭を発展させる形で40年以上前から続く恒例の大漁まつりが開かれました。祭りのハイライトは大漁旗を掲げた11隻の漁船による曳船で、



浜は活気にあふれました。(5/21 ニュース)

大船渡発

さんりく元気ラジオ!

(ワイドステーション内 毎週水曜日放送)

大船渡「FMねまらいん」の伊藤こずえさんが、5月24日に陸前高田市気仙町で行われる酒米の田植えについて伝えてくれました。これは大船渡に蔵を構える酔仙酒造が製造している「特別純米酒・多賀多」の原料米になるもので、地元の水と米を使い地域の人に関わって造る特別なお酒ということです。今年も市民のほか気仙小学校の5年生も手伝いをします。泥だらけになって楽しんで田植えをした後は、地元の米を使ったおにぎりや豚汁が振る舞われるという事です。伊藤さんは「多少曲がって植えても、立派な酒米に育ってくれると思います」と話していました。(5/17)

宮古発

さんりく元気ラジオ!

(ワイドステーション内 毎週水曜日放送)

みやこハーバーラジオの田澤紗綾さんが、6月6日に行われる「木の博物館分館16号日本一のハナヒョウタンボク観察会」について伝えてくれました。ハナヒョウタンボクは氷河期から姿かたちがほとんど変わらず、現在は岩手と長野の一部地域のみで確認されている貴重な植物ですが、宮古市にある木は「太さ」が日本一といわれています。6月の初め頃白い花が咲き、9月頃には小さな赤い実が2つ並んで付くということです。田澤さんは「観察会は誰でも参加できます。体力に自信のない方でも大丈夫ですので、自然の恵みを満喫してみませんか」と話していました。(5/24)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中
詳細はIB公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>
IBC復興支援室事務局 019-623-3122